



**3000名の市民が参加し、2万本の苗木を植える！
10・6「鎮魂の森 南相馬市復興市民植樹祭」
「いのちを守る森の防潮堤づくり」スタート！**

南相馬市桜井市長からは、「この地から、命を守るプロジェクトを出発させ、全国から被災地の震災復興に向け取り組んでいく」とあいさつがありました。当日は、宮脇昭横浜国立大学名誉教授の指導のもと、細川護熙元内閣総理大臣、AKB48やくまモンも参加しました。東京地本からも「NPO法人森びとプロジェクト委員会」のインストラクターの皆さんの植樹指導や、東京地本で育てた3000本の苗木が使われ、3000名で大震災で発生したガレキを利用してつくった盛り土に、タブノキやアカガシなど16種類2万本の苗木を植樹しました。JR東労組は、100万本の苗木を贈呈していきます。被災者との絆を深め、全組合員で植樹に向けて苗木を育てていこう！